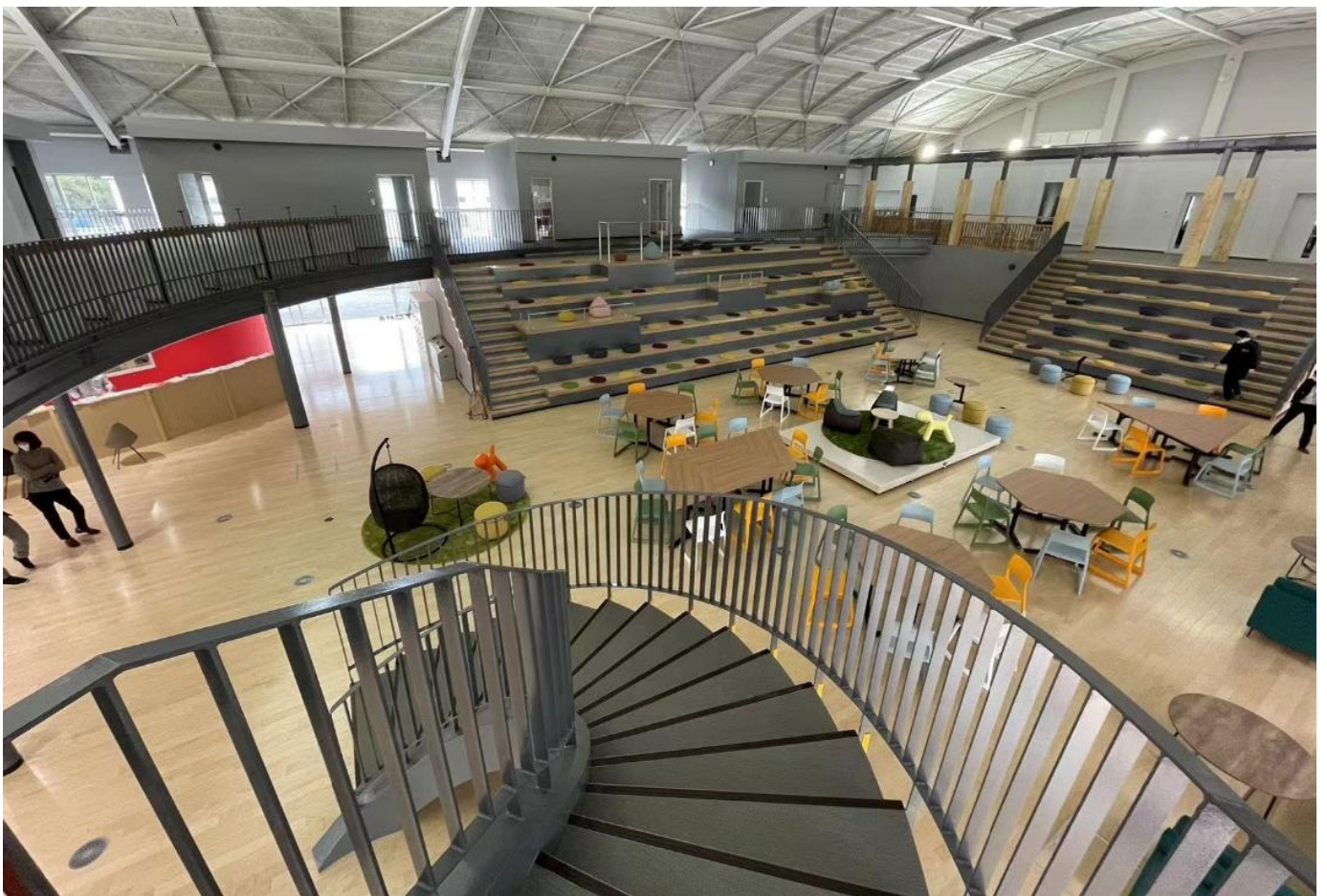


本学、家政学部生活デザイン学科教授である佐久間 治先生が設計した建築デザイン作品：『九州工業大学GYMLABO（ジムラボ）』が、2024年度の『福岡県美しいまちづくり建築賞』と『北九州市都市景観賞』をW受賞しました！



『九州工業大学 GYMLABO（ジムラボ）』は、九工大工学部キャンパスに1965年に建設された旧体育館を、2022年に産学官民連携交流コワーキングスペースとしてリノベーションした建築で、体育館というフラットな大空間に、新たに2階を増床し、その上下を、大階段や螺旋階段等の多様な動線で繋いで立体的な空間に改修することで、様々な利用者の居場所を用意し、お互いの自然な交流が生まれる空間に生まれ変わった点が高く評価されました。また、閉鎖的だった体育館の1階壁を開口部に変えることで、緑豊かなキャンパスと連続した開放感のある明るいコワーキングスペースを実現しています。南側グラウンド周辺の松並木の緑豊かな空間を内部空間を借景にして取り込むと共に、内部の活動を外部に見える化することに成功しています。

■受賞詳細

- ・『福岡県美しいまちづくり建築賞』
(第37回：2024年度福岡県建築住宅センター理事長賞)
https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/758338_62402718_misc.pdf
- ・『北九州市都市景観賞』(第10回：建築デザイン賞)
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/30100098.html>

今回の佐久間先生の受賞は、前任校である九州工業大学での成果になりますが、今後、生活デザイン学科での教育や研究に大いに活かされることと思います。

福岡県建築住宅センター理事長賞

選考テーマ:既存建築物のリフォーム・リノベーション

九州工業大学 GYMLABO (ジムラボ)

設計趣旨

九州工業大学 GYMLABO (ジムラボ) は、1965年竣工の旧体育館を産学官民・共創のためのコーワーキングスペースに教員学生職員が中心となって企画・計画・設計リノベーションしたもので、以下の点が空間デザイン上の大きな特徴である。

1. 閉鎖的な体育館を開放的な緑のコーワーキングスペースに再生

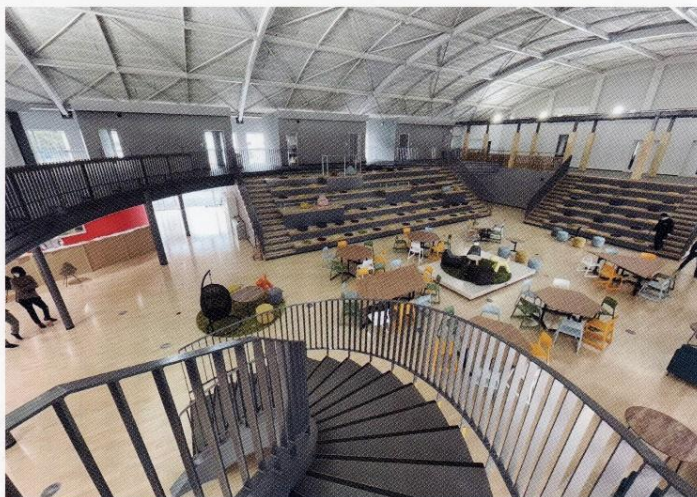
飛梁構造の特徴を活かして外壁1階の一部を撤去し、開口部にすることで、閉鎖的な体育館を内外空間が連続する緑豊かなコーワーキングスペースに改修した。建築とランドスケープを一体的にデザインすることで、キャンパスの豊かな緑を借景として内部に取り込みながら、内部活動を外部へ見える化している。

2. 黄金螺旋の線形を活かした2階吹抜空間の増床により、産学官民の交流を誘発する立体的で多様な居場所を創出

高い天井とフラットな床の旧体育館に黄金螺旋(既存施設平面で使用されていた黄金比を踏襲)の線形を活かした2階の吹抜空間をつくり、その上下を、大階段、螺旋階段、ベンチ、ステージ等で有機的に繋ぐことで、産学官民の多様な交流を誘発する立体的で多様な居場所を創出している。

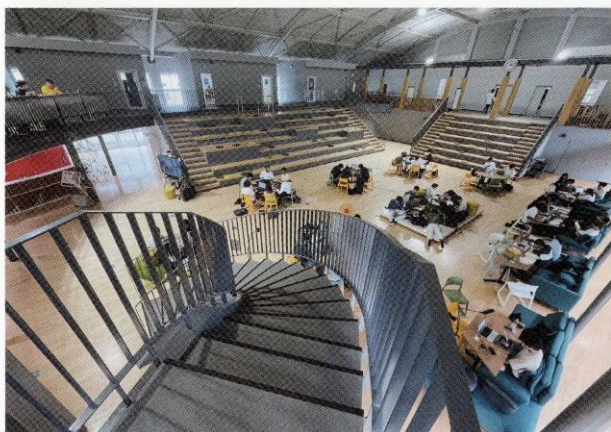
3. 敷地周辺に点在する近現代建築群の散策拠点として活用できる、地域に開かれた新しい大学キャンパス施設としての役割

本施設は、キャンパスから夜宮公園へ続く、明専の森と称される近現代建築群が点在する地区のほぼ中心にあるため、県民にとって、優れた地域資源としての近現代建築群(旧松本家住宅、旧安川邸、九工大・記念講堂等)を繋ぐ回遊拠点としての機能も併せもっており、地域に開かれた新しい大学キャンパス施設の象徴的役割も果たしている。



所在地 北九州市
建築主 国立大学法人九州工業大学 学長 三谷康範
設計者 九州工業大学GYMLABOデザインチーム:建築デザイン担当
佐久間治(元教授・現九州女子大学特任教授)
*GYMLABOデザインチーム:伊東啓太郎 米澤恵一朗
須藤朋美 石塚直登 趙旺熙 施設課 環境デザイン研究室
建築デザイン研究室
株式会社総企画設計福岡支店設計部課長 西嶋香
浦田庭園事務所株式会社代表取締役 浦田知裕 衛藤一平
前崎成一
株式会社ATOMica(アトミカ) 代表取締役Co-CEO 嶋田瑞生
施工者 大木建設株式会社九州支店 支店長 松尾宗
用途 大学施設
構造規模 RC造一部S造 1階建て(一部2階)
竣工日 2022年3月
撮影 佐久間治

建築デザイン賞



九州工業大学 GYMLABO

大学に残されていた体育館を産学官民が一体となるワークスペースとして改修した。計画段階から多種多様なチームで丁寧に構想されてきたことで、学生・教職員・企業・地域住民の誰一人取りこぼすことのない開かれた施設が誕生。既存躯体の構造を活かしながら地域の歴史や立地条件の解釈を重ねることで、開放された外壁と豊かなランドスケープへの展開が極めて心地よい空間を創り出している。大学内にありながら施設運営が民間企業への委託運営で収益化している点も先進的な構図と言える。大きな器の中で個と集団のニーズを同時に満たす大胆なアゴラ(大空間)が、企画から実現まで尽力した全ての関係者の熱量を優しく包み込んでいる。

(選考委員 山田 浩史)



所有者：(大)九州工業大学
設計者：九州工業大学 GYMLABOデザインチーム
(株) 総合企画設計 福岡支店
浦田庭園事務所(株)
(有) 福岡書芸院
(株) ATOMICa
施工者：大木建設(株) 九州支店



福岡県美しいまちづくり建築賞 福岡県建築住宅センター理事長賞 表彰式 2025.02.7



第10回
北九州市都市景観賞

建築デザイン賞

九州工業大学GYMLABO



所有者：(大)九州工業大学
設計者：九州工業大学GYMLABO
デザインチーム
(株)綜企画設計 福岡支店
浦田庭園設計(株)
(有)福岡
(株)AT
施工者：大木建設



北九州市都市景観賞 建築デザイン賞 表彰式 2025.03.9



第10回 北九州市都市景観賞
「建築デザイン賞」

九州工業大学GYMLABOデザインチーム様

貴団体が設計された「九州工業大学GYMLABO」は個性豊かで魅力ある都市景観の向上に大きく貢献しており、美しいまちづくりの模範と認められるので、ここに北九州市都市景観賞を贈ります。

令和7年3月9日

北九州市長 武内和久

